

製品名: ACBP ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06476**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	10kDa

抗原情報

遺伝子名	DBI
別名	DBI; Acyl-CoA-binding protein; ACBP; Diazepam-binding inhibitor; DBI; Endozepine; EP
遺伝子 ID	1622.0
SwissProt ID	P07108
免疫原	抗血清はヒト ACBP 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 25-74

背景

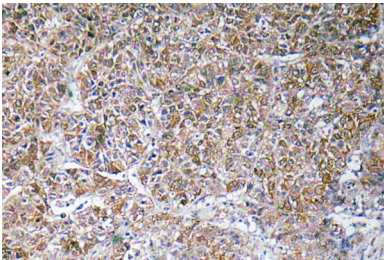
この遺伝子は、ホルモンによって制御され、脂質代謝と、脳のシナプスに位置する A 型 γ -アミノ酪酸受容体におけるシグナル伝達を調節する β -カルボリンおよびベンゾジアゼピンの置換に関与するタンパク質、ジアゼパム結合阻害因子をコードしています。このタ

ンパク質は酵母から哺乳類に至るまで保存されており、最も高度に保存されたドメインは、中鎖および長鎖アシルCoA エステルの疎水性結合部位を構成する7つの連続残基で構成されています。ジアセラム結合阻害因子は、副腎皮質刺激ホルモン依存性副腎ステロイド産生のメディエーターとしての役割に加えて、腓液分泌のフィードバック制御と食後コレシストキニン放出を媒介することも知られています。6番、8番、16番染色体に位置する3つの擬遺伝子が同定されています。異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーション機能: 中鎖および長鎖アシル CoA エステルに非常に高い親和性で結合し、アシル CoA エステルの細胞内輸送体として機能する可能性がある。また、GABA A 型受容体に存在するベンゾジアゼピン (BZD) 認識部位からジアセラムを置換することもできる。したがって、このタンパク質は GABA 受容体の作用を調節する神経ペプチドとしても機能する可能性がある。類似性: ACBP ファミリーに属する。類似性: 1つの ACB (アシル CoA 結合) ドメインを含む。サブユニット: モノマー。

研究分野

PPAR;

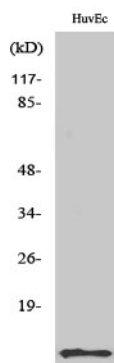
画像データ



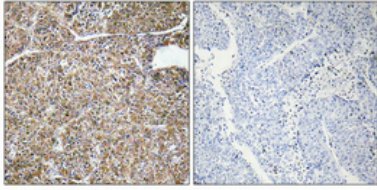
パラフィン包埋ヒト肝癌組織における ACBP 抗体の免疫組織化学分析。



ACBP 抗体を使用した HuvEc 細胞の溶解液のウェスタン ブロット分析。



ACBP ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。